

年度 社団法人調布青年会議所

2月第2例会

会～本気の伝わる納会～

あすの調布

題字 第39代理事長 梶原良介

12月号

2009年度 スローガン
『感動』の追及！！本気が伝わる行動力
～確立しよう存在感ある新しいJCのかたち～

【2009年度

一年を振り返って】

スローガンにも含まれている言葉、「本気の行動力」を一年間一貫してメンバーに呼びかけて参りました。特に理事者の皆さんには、「もともとと！」と言わんばかりに本気の姿勢を求め続けた。

今までの私自身を振り返ると同時に、自戒の念を含めながら、皆さんにより多くの達成感と収穫を得て欲しいという思いの基に……。誤解なきように申し添えますと、「本気」は「高度」「高レベル」という事ではございません。私が求めたのは、メンバーの目の前にある機会（役割）や事業に対して、「主体的に情熱を注いでいるのか？」という事であり、レベルや次元の高い低いに関わった事ではございません。人によっては、「JCなんて所詮小さな世界だ」と思うことでしょう。確かにそうかも知れませんが……？

しかし、されどJCであり、その領域をブック・日本・世界に向けたのであれば、JCという世界も決して小さいとは思いません。そのうえ、様々な機会・出会いそして、人を成長に導く仕組みが豊富なJCという組織に属していなながらも、そのこと自体に感謝することもできず、その環境を最大限に活かしていかうという基本姿勢が無いのであれば、「JCなんて小さな世界だ」なんて批判できないはず。経済状況が厳しさの真つただ中にある今、青年会議所運動を続けるメンバーにおいては、前述の様なネガティブな事を考えながら会に属す輩は実に少ないであろうという事を踏まえながらも、だからこそ、我々の目的意識や主体性をより高いステージへ昇華させると同時に、地域において「存在感ある新しいJCのかたち」を確立する絶好のチャンスであると捉え、ただひたすらに「本気の行動」を求め続けたのであります。

私たちは、「青年経済人」と自分自身を表現しておりますが、まだまだ足りない事だらけの

未熟な世代であります。そのことを謙虚に受け止めながら、時にはJCに対する誤解や偏見にさらされながらもそれらを甘んじて受け入れ、「熱意」と「志」は大いに抱きながら説得力を増してゆくための行動（運動）を続ける他に進むべき道はありません。あすの調布が最終号となる段階で、非常に青臭い思いの丈を書かせていただきました。2009年度という一年は終わりを迎えますが、今後も調布JCは『毎年40歳を迎えたメンバーが卒業をしてゆく事で常に若さを保ち』『毎年組織をリフレッシュすることで敢えて未熟さや情熱を維持する』団体としてこのまちに生き続けることでしょうか……。

そんな特性を持った組織に属するのですから、知識やスキルといった無機質なもののばかりに傾倒せず、思想や哲学・熱意や情熱といった人間の魅力を身につけることで、この限られた20代30代というかけがえのない青年期を一杯駆け抜けて欲しい！そんな想いをメンバー諸兄と諸先輩方に向けて述べさせていただく事で、ここまで過ごしたJCと、この組織を通してご縁をいただいた全ての皆様に感謝の念をお伝えし、2009年度理事長としての最後のメッセージとさせていただきます。

一年間本当にありがとうございました！

社団法人 調布青年会議所

第39代理事長 梶原 良介



例会報告

●10月第一例会

経営者として、人として、何が必要か？
『経営者の落とし物、私の拾い物』

去る10月20日（火）調布市グリーンホール小ホールに於きまして、講師に銀座ふたご屋ママ「ますい志保」さんをお招きして講演をして頂きました。当日は一般参加者160名にご参加頂きメンバーと合わせると20名近くになりグリーンホール小ホールに用意した椅子がほぼ埋まりました。あらためて、講師であるますいさんの知名度と人気を再認識いたしました。



委員会としても、各調布市内の商店会、関係諸団体をまわったり、駅前でビラ配りをしたりと積極的に動員をした結果ではないかと思えます。また、シネクラブの先輩からもご協力頂き、この場をかりて御礼申し上げます。

肝心の講演会の内容ですがJC的なステップを踏んで講師の方と打ち合わせを進めていく中で、話して欲しいキーワードや内容をあまりに多く出してしまい講師の方の個性を出しきれなかったのが反省点として残ります。

講師を選定するにあたり委員会では紆余曲折ありましたが、成功者の武勇伝や、利益ばかりをとめるのではなく、生き様や利害関係のない人として尊敬できる人の話しを聞きたいという委員会の声もあり、ますい志保さんをお願いいたしました。

反省点も多い例会でしたが、収穫も多かったです。どうもありがとうございました。

人・心指導力委員会 委員長 小川陽一

●10月第二例会

親子ふれあい
ものづくり教室



企画は約二年前から温めていた。親子で一緒に何かを作る。そういう事業を考えていた。

協議は六月から始まり、審議の九月末まで、不安でいっぱいだった。不安が確信に変わったのが、募集案内のハガキが規定以上に反響があった時からだった。今度は責任という言葉が重く肩にのしかかった。

インフルエンザの影響で多少のキャンセルはあったものの、参加者の怪我もなく当日は無事終了した。背景には他委員会メンバーの協力があったことはいまでもない。言葉にはできない嬉しさが数日後かみしめるように実感した。

仕事が大変な状況で最後まで関わった井上副委員長、ほとんどのアイデアを出してくれた齊藤会計幹事、地道な入力作業を黙々とこなした福田運営幹事、当日の段取りを念入りにチェックしてくれた加園委員、当日まで鉛のサンプルをひとり工場にこもって完成度を高めた中嶋委員、そして、審議書を作成するところから寸暇も惜しんでずっと関わってくれた中村副理事長、感謝します。

委員長になつてはじめて感じる自身の至らない部分、身にしてみても分かった。青少年を育成、というよりも委員長を育成してもらった。それが率直な感想です。





青少年育成委員会 委員長 加藤雄一

● 11月例会

ちよふ市民討議会2009 市民の声
でまちを変えよう！ちよふTOUR

去る11月7日(土)、8日(日)の2日間、国領の「あくろす」において「ちよふ市民討議会2009」を調布市との共催で実施致しました。無作為抽出市民の参加者29名、来賓、来訪JCI、傍聴者、そして運営側の実行委員会メンバー、調布JCIメンバーを含め両日で104名の参加を頂きました。



「あくろす」において「ちよふ市民討議会2009」を調布市との共催で実施致しました。無作為抽出市民の参加者29名、来賓、来訪JCI、傍聴者、そして運営側の実行委員会メンバー、調布JCIメンバーを含め両日で104名の参加を頂きました。



ちよふ市民討議会2009 実行委員長 小山晃一郎

● 12月第一例会
第40回通常総会

12月4日(金)に調布市文化会館たづくり8階映像シアターにて、2009年度(社)調布青年会議所第40回通常総会が開かれました。



金子日出澄シニアクラブ会長以下多くの諸先輩方にもご参加頂く中で、渡邊弘樹次年度理事長以下次年度体制が正式に承認され、調布JCI創立40周年を迎える体制がいよいよ整いました。承認を受け、渡邊次年度理事長も40周年という節目のバトンを受けるに当り、感慨無量の様子でありました。

また、議事進行の終了後は、総会恒例の「1分間スピーチ」が行われました。松永委員長から新入会員も古参会員も関係なく矢継ぎ早にスピーチ指名され、メンバーにも緊張の面持ちが散見されました。特に新入会員の方々には試練のような一分となります。非常に緊張しますが、大勢の前で話す、しかも別にうまく話せなくても良いという、度胸付けの、貴重な訓練の場だと思います。是非今後も楽しんで取り組んでもらえたらと願う次第です。ちなみに、一番楽しんでいたのは松永委員長でした。けどね！



最後に、お運び頂けました先輩方、メンバーの皆さまのお陰をもちまして、無事本総会を開催できました事、担当委員会として深く御礼申し上げます。

● 12月第二例会
卒業式・納会

総務啓発委員会 会計幹事 中野竜太郎
12月13日に調布クレスタンホテルにて、卒業例会・納会が多く現役会員、OBの参加をいただきまして大盛況の中開催されました。



第一部卒業例会においては会員開発交流委員会が作成した映像をバックに、6名の卒業生より厳かな雰囲気の中、その想いを存分に語っていただきました。

第二部納会においてはハイライトが2つございました。一つは、多くの新入会員を擁し、大人数となった委員会メンバーの特性を生かして「本気の大運動会」を開催。卒業生にも全身タイツなどを着て衣装していただき



模擬運動会を行いました。中でもその人数を生かしたピラミッドは見ごたえのあるアトラクションになったのではないのでしょうか。もう一つのハイライトは今年度理事長最後のスピーチでした。今年度を振り返る映像を見たあとのご登壇となりましたが、映像の余韻も相俟って理事長も涙ながらの感動のスピーチとなりました。今年度からの新しい試みとして、記念誌のかわりに記念DVDを作成するというプロジェクトが今なお進行中です。DVDには卒業例会の様子も一部収録する予定です。卒業生にはDVDそのものをお渡しする予定ですが、そのほかの皆様には、年明け早々にも何らかの形で閲覧できるよう鋭意作業中でございます。ご期待ください。ありがとうございました。

会員開発交流委員会 小笠原 長武



あの人は今

ちよつと気になる

●このコーナーは現役が気になるシニアクラブの「あの人」を、シニアが気になる現役の「あの人」を紹介していただき、総務啓発委員会が対談形式でおくる調布JCの輪です。

最終回は2人同時にインタビュー！

前回インタビューいただいた、堀君が気になる「あの人」は…

半澤 一明 先輩

プロフィール '99年入会、'02年卒業 47歳

緑友会 理事長

そして同じく、前回インタビューいただいた、元木先輩が気になる「あの人」は…

新國 政和 君

プロフィール '99年入会 直前理事長 37歳

松永(以下、松) 本日はゲストがお2人いらっしゃるので、交互に色々とお話をお聞かせ下さい。

菅 では、半澤さんへ

前回の堀君からの質問です。「いったい、車何台持っているんですか!？」

一同 (笑)

半澤(以下、半) いやー、数えた事ないけど…8台くらいかな?

和田(以下、和) メインは何乗ってるんですか?

半 ベルファイアって車。乗りやすいんだよ。でさ、ゼンが同じの買ったんだよな(笑)

菅 ではでは、新國さんへ前回の元木先輩からの質問です。「卒業まで数年あるけど、その間に調布JCに何を残してくれるのかな?」



中野(以下、竜) 深い質問ですね(笑)

新國(以下、新) ホント、元木さんは自分の事わかってるんで、測られてる感じだね。そうだなあ、自分たちの誇り、価値、意義を残せるか?地位や役職じゃなく、熱意なんだ、これが誇りやプライドなんだ、そんなものを残していきたいね。

松 わんぱくの東京都大会誘致もそう?

新 そうだね。食わず嫌いついていうのはJCでは相応しくないよね。

半 うん、何でもやるべき。あと、モー娘例会じゃないけど、皆の記憶とか歴史に残る事をやりたいよな!

松 語り継がれるような?

半 そう、語り継がれたいね(笑)JCでネットワークなわけで、何か困った時にメンバー思い出して声をかけられるんだよね。だから、皆の印象に残るような何かデッカイのをやってやろうと思ったわけ。

竜 なるほど。

半 そういえば、前にハワイに行ったとき、タクシーの運転手と話して「どこから来た?」「調布」「あ、さくらツーリストの?」「え、マサカズ知ってるの?」「知ってるよ!」、なんて会話があつて驚いちゃったよ。色んなネットワークで頑張ってるの知って嬉しかったね!

新 ありがとうございます。

菅 JCに入ったきっかけは何だったんですか?

半 当時、コウカ?晃華学園のPTA副会長やって、役員会議で子供の通学に危ない環境があつたんで「学校までバスを通しましょう」という提案をしたら、全員が無理!というんで、「やってみなきゃわからないですよ」「お前一人でやってみろ」「やってやろうじゃないか」って事になつちやっただよな。でも、地元全然顔が利かなかつたんで、学校・役所は門前払い。そんな時に中村シンとフレアリクラブで知り合つて、地元と付き合えるJCに入ったんだよね。

竜 そんな繋がりだったんですか。

半 '99年の宗貴委員長率いる会務局委員会?は濃いメンツだったな。梶原、新國、加藤、薄井、

中島茂、古沢、園ちゃん…。

和 俺もですよ(笑)

半 あ、そうだった(笑)

竜 意気の良い人ばかりですね!

松 その時はロムメンバー、100人以上いたらしいからね!会務局で総務と拡大をくついでよ。

新 その時のイメージで総務と拡大をくついでよ。と拡大を一緒にしたんだよね。

菅 色々役員もやられたんですか?

半 いや、委員長とか理事長とか断つた。会社持つてると常に立場上なわけですよ。会社以外でも上からこうしろ!ってやりたくなかったし、下っ端でいいから街のために汗を流したいって思つたわけ。

松 そういう半澤イズム俺好きなんですよ。

半 でも、誰よりも仲間作つたよ!日本JCにも出向したし、事業もロムに持つてきたホントにたくさん仲間作つたよ。それが宝だね。



新 JCで、40歳までの宝探しなんだよね。半 街づくりを通して仲間を出来るのが魅力だよな。あと、どこまで馬鹿になれるか?どこまで汗をかけるか?だよな。

新 今を楽しめない人は、いつになっても楽しめないと思う。

半 せつかくJCに入ったんだから、世界と渡り合える人になつてほしいよな。

竜 どんな事業されたのか、教えてもらえますか?

半 一つあげると、サッカーの事業だね。ルール知らないし、ボールもロクに蹴れずに手を使っちゃうような子供や女の子集めてサッカー教えたんだよ。で、ユニホーム全員分集めて、ベルデイのコーチまで呼んでやったわけ。大変だったな。でも最終的に現味の素スタジアムでのサッカーの式典でその子供たちを歩かせる事ができたんだよ!俺はあの子達に一生の思い出を作つてあげたんだよね。その子達が高校になつてサッカーの主将になったりしてるんだからな。

菅 嬉しいですね!半 嬉しいよな!

半 (ここで梶原理事長話に参加、サーフィンの話で盛り上がる)

松 (そろそろ和田副委員長の目が据わり始める)に交流多いですよ。

半 じゃがいもクラブ参加してるからな。

竜 結構参加いたれてるんですか?

半 時間ある時は必ず行つてるね。卒業するとうしても現役とのつながり切れちゃうけど、じゃがいもは色んなところと繋がりが続く一番の道だよ。

菅 では酔っ払う前に、後輩へ一言いただけますか(笑)。

半 熱い想いを持つて生きろ!本気になれば出来ない事はない。でもやってみて出来なかった事は恥ずかしくない。やれない事がわかっただけだから。何でもトライしてみろ!

松 熱いですね。

半 JC入って仲間作つて、できないと思つたこと実現してきたから。JCの仲間がいたから今の俺がある。JCの一番の宝は「人のつながり」だと思うよ。

新 ホント、同感です。

半 (この後、半澤先輩が熱い想いを語り続ける…) (和田副委員長、加藤委員長のカメラを奪い、専務の頭頂部を撮っている)

松 今日先輩の熱い想いを聞きました。ありがとうございます。

一同 ありがとうございます!

半 いやー、二人のインタビューなのに俺ばつた話しちゃつて良かったの?

新 いや、いいですよ、僕も久々にゆっくり話聞けて楽しかったです。

半 俺も真面目に話しちゃうからな…

半 (この後も語り続ける半澤先輩) (そして、頭頂部をズームで撮り続ける和田副委員長…)



♪J.C.の扉を開けて私をどこかへ連れて行って

2009年度我々の仲間に加わった新入会員の紹介と質問コーナー
今回の質問はこちら

Q1 どんな経緯で入会したんですか？

Q2 プロフィール+本人からのPRなどあれば教えてください！

Q3 最近ハマっていることありますか？

Q4 新鮮な目で見て、J.C.つてぶっちゃけどうですか？

Q5 こんなJ.C.だったらいいなあ！という意見はありますか？

Q6 私生活はうまくいっています？

#505 鳩山 隆史(ほとやまたかし)

勤務先 株式会社 リハート・リック 33歳



A1 多分逃げられなくなったのででしょうか。

A2 面倒くさい事に名字が変わりました。ご面倒おかけしてすみません。(旧姓 杉浦)

A3 特にありませんが、近い将来J.C.と答えられたらいいですね。

A4 出てないので何も語れません。

A5 それはこれから活動していつて思う事であって、今年の自分には答えられる立場ではありません。

A6 いたって普通です！

#521 長谷川 正(はせがわただし)

勤務先 株式会社協栄商会 39歳



A1 商工会青年部の家族会にて、荒井さんのたまたま隣になり「長谷川君J.C.だよ。入んなきゃ」の一言で入会しました。妻も同席だったのですんなり(このときはJ.C.のことは何も知らず)

A2 仙川在住・OA事務機器・什器の販売をしています。実は、リースが得意だったりしています。黙っていると、よく怒ってるのとか言われますが自分では普通なんです。最近、笑顔でいる様に心がけてます！

A3 子供の影響で仮面ライダーです。あと、J.C.です(時間にはまっています)

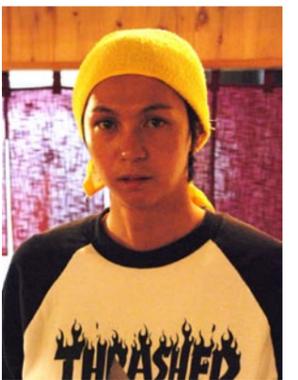
A4 なんかも秀囲気が独特で、居心地がいいです。

A5 初め、専門用語とか誰からのメールか解らなく流れについていけませんでしたが、これもJ.C.のいいところですかね

A6 勿論です。更にうまくいくためにも、家庭とJ.C.愛情と(本気の)行動力のバランスを大切にしていきたいです。

#522 住 友宏(すみともひろ)

勤務先 お好み焼きTOMOTOMO 32歳



A1 私のお店にお客様としてメンバーの杉崎カイヨウさんが来られてまして、ある日突然、「消防団とかやってる？」と聞かれ「やってません」「J.C.興味ある？」とあります」と答えましたら十五分ぐらいで後藤委員長や松永副理事長にお越し頂き、J.C.について詳しく伺い入会することになりました。

A2 大学卒業後、会社員を五年経験し、色んな心境の変化により突然オーストラリアにワーキングホリデーで渡航しました。帰国後、いつかオーストラリアな好み焼き屋をオープンさせたいと思って今の店をオープンしました！

A3 最近は寒くなりすっかりインドアです！

A4 色々な方がいて常に刺激をうけてます！皆さん何事に対してもとにかく熱いです。

A5 今のままでも十分魅力的だと思います。

A6 忙しい毎日です。日々を振り返る日もなかなかありませんが楽しいです。充実感っていうのはこんな感じかなと思ったりします！

#523 村澤 健太(むらさわけんた)

勤務先 有限会社エムズ・ワークス 26歳



A1 最初、ワークスの後藤さんにJ.C.入会を勧められ僕は右から左へ聞き流してました。そうしていると、今度はアジサイ後藤さんが登場し入会を勧められました。左右からW後藤さんに入会を勧められ、入会しました。

A2 父の経営する粘着フィルム施工販売店の身分は代表取り締められ役です。あと、独身です！

A3 主婦業。

A4 あまり参加できていないのでまだ分かりませんがみんなワイワイ仲の良いファミリーだなと思います。

A5 教育担当の人を付けたらして頂くと、もっと取り組みやすいのかな？なんて思いました。

A6 ぼちぼち。

#524 佐藤 優(さとう ゆう)

勤務先 旬鮮酒場 華肴(かこう) 30歳



A1 後藤委員長と榎本さんの誘いを受けて入会しました！

A2 昭和52年2月19日生まれ、出身は山形県。

A3 やはり今は自分のお店です！

A4 正直まだ例会などに出れてないのでわからないですけど、皆さんを見ていい人たちが揃ってるんだなとゆるゆるは実感しています。

A5 まだ今はJ.C.を把握できてない自分がいるのでまだなんとも？

A6 とにかく今は店を軌道に乗せることを嫁と従業員と一緒に考えているので、ある意味充実してると思います！

#525 谷口 功一(たにぐち こういち)

勤務先 首都大学東京 准教授 36歳



A1 今年の8月末に調布に引っ越して来たのですが、引っ越して来る前から呑みに行っていたお店で、シニアの方(OB)の狩野明彦先輩からお誘い頂き、入会しました。このお店も

後から知ったのですが、偶然ながら、OGの加藤幸子先輩のお店でした。

A2 既に書いた通り調布に引越して来たばかりですが、元々の出身は大分県の別府で、大学入学以来ずっと暮らしていた世田谷区の豪徳寺から18年ぶりの引越になりました。調布は、とても良い所で、職場である首都大学東京のある南大沢へも近いので、ここに根づければと思っています。

A3 というわけで新住民でもあるので、「はまっていく(?)」のは「調布探索」です。時間のある時には、市立図書館に行って市誌などを読んでいます。色々なものを読むのが、もともと仕事なもので。そういえば、この前は京王多摩川駅近くの郷土博物館に散歩に行きました。

A4 仕事柄、極端に若い人たち(19歳〜23歳くらい?)と会う事が多いので、自分と同年代の仕事も様々な地元の方たちとお会いするのは、それだけで新鮮です。あと、非常にお酒の好きな方たちが多いのに驚きました。皆さん、(若者よりも)元気です(笑)。

A5 実質的には入会して2ヶ月ちょっとくらいです。まだまだこれからJICの事を知って行きたいと思っています。今のところは、毎回新鮮な気持ちで臨んでいます。

A6 JICに入会し、地元の知り合いも大いに増え、大満足です。先に書いた18年間も住んだ豪徳寺も悪い所ではなかったのですが、地元つながりがあるというのは本当に素晴らしい事で、妻ともども満足しています。調布に越して来て良かった!

井526 清水 崇司(しみず たかし)

勤務先 月兎ソース 株式会社 34歳



A1 後藤委員長からお誘い頂きました。同い年ながら、行動力や人間力のある後藤委員長を見て刺激をうけ、これだ!と思いい入会を決意しました。

A2 調布・八王子でレストラン・業務用の食材の卸業を営んでおります。大学卒業後、味の

素樸に入社し、6年前今の仕事に入りました。食品業界11年。仕事柄食への事が大好きです。今まで調布の飲食店で食事する機会が少なかつたのですが、入会を機に調布を中心に食べ歩き、もつともつと調布の味を知って行きたいと思っています。よろしくお願いします。

A3 最近ハマっているのはゴルフと子育てです。どちらもイメージと結果が直結しないので苦戦しておりますが、経験豊かなJICの諸先輩方から色々アドバイス頂き頑張っています。

A4 日常の緊張感や刺激が少なくなってきた中でJIC入会。私にとってJICは、色々な場面でこれらを感じられる場所でした。緊張感を乗り越え成長してゆき、みんなからの刺激を自分の力に変えていきたい。JICを通して得た力を地域や仕事、そして家族への貢献という形で返していければと思います。

A5 入会したからには何か足跡残したいですね。何が出来るか今は分かりませんが悔いのないよう活動してゆきたいと思っています。

A6 私生活うまくいっていますよ!来年第二子が誕生します。JICと家庭の両立がんばります。あと仕事も。

井527 藤生 健(ふじうけん)

勤務先 衆議院議員 吉川政重事務所 38歳



A1 再入会。ロシアから帰ってきて、また行くまでの間だけ。

A2 いま流行りの政策秘書。一年生議員よりは政治のこと知ってますよ!

A3 ロシア人の新妻?

A4 田舎のおぼの親睦会。

A5 楽しく盛り上がりれば良いかと。

A6 勢いに流されてばかりの人生で本当にいいのかなあ、と。

調布JIC活動報告

【全国大会】

去る10月15日(木)〜18日(日)、第58回全国大会(大会沖縄那覇大会)が行われ、調布メンバー総勢16名とともに参加してまいりました。ここで、金曜日早朝の日本JIC褒賞授賞式について触れたいと思います。

日本JIC褒賞に関しては、正副執行部において、メンバーの事業への本気の取り組みを大事にしながら心を込めて7月より準備を進め、事業部門に3件と会員拡大部門にエントリーしました。

その結果、会員拡大の手法につき特に秀でていたという「会員拡大部門戦略性」において、全国709ロムの中で、見事に優秀賞を受賞しました。これは、昨年の8月より会員拡大に本気で取り組む後藤委員長を先頭に、交流委員会スタッフの皆さんの織りなす力が大きなうねりとなり、ロムメンバー全体に広がり、メンバー相互が共感し合いながら人を引きつけていった力だと実感しています。「魅力的なロムには魅力的な仲間が集まる!」その結果「よいまちにはよいJICがある!」ことに繋がっていくことと確信しています。

全国のメンバーが出席する会場において、調布メンバーとともにレッドカーペットを歩き登壇しました。私は、梶原理事長が登壇し、理事長挨拶をあの瞬間に間近で聞くことができ本当に幸せでした。

そして、土曜日はロム本体と合流、夜の大会式典では褒賞受賞ロム・会員拡大30%達成ロムとしての2度の理事長登壇、特別ゲスト武田鉄矢氏の「贈る言葉」の中での感動の卒業式と、私の写真撮影も多忙を極めました。その後のロムナイトでは原島歴代理事長も駆け付けて下さり、二次会は武蔵野JICさんとの合同開催、多くのメンバーとともに感動的で忘れられない一夜を過ごすことができました。私は、梶原理事長のアテンドを心ゆくまで後悔することなく務め上げるこ

とことができました。

来年の全国大会は「小田原・箱根」にて行われ、東京ブロック内会員会議所は副主管として協力します。調布からも近距離ですので、多くの調布のメンバーとともに感動を共有しながら、卒業生をお祝いしたいと思います。

最後に、日本JIC褒賞委員会に出向し設置も含め様々なバックアップをして頂いた新國直前理事長、設営に尽力しロム本体を引率した川端副専務理事、そして、参加した多くの調布メンバーの皆さん、感動をどうもありがとうございました。

専務理事 原島秀一



【出向者報告会】

去る11月18日(水)19時30分より、調布市文化会館「たづくり」8階映像シアターにて「2009年度出向者報告会」を開催しました。

今年度は、日本青年会議所本会、関東地区協議会、東京ブロック協議会(延べ22名、調布市内他団体へ3名と、多くの出向者を輩出しました。

例年は、総会後の時間を利用して数分程度の時間で出向者報告会を行ってまいりました。今年度は年当初より、梶原理事長の「それぞれに想いを持つて出向したメンバーの外での成果を伝える場を別途設ける」との想い、専務理事として出向推薦書を取りまとめいく過程の中で「勇気を持って前に進もうとしているメンバーを応援し、その姿を多くのメンバーに伝えたい」との想いのもと、開催致しました。

当日は、9名の出向者より、

- ① 出向先の紹介
 - ② 出向に至るまでの経緯
 - ③ 出向した感想(自身にどのような変化が生じたかなど)
 - ④ 次年度以降出向するメンバーへのメッセージ
- など、一人10分程の時間で想いの丈を述べて頂き、「自身をより成長させたい」「青年会議所のスケールの大きさを感ぜたい」など非常に前向きな姿勢を皆様から強く感じることができました。

その中で、私が印象に残っている言葉は、『不安でどうしようもない時でも、片眼をつぶってでも前に進んでみる、そこで努力しながらく自分がいて乗り越えようと違うステージに自分があることが実感できる』ということでした。一年間苦勞しながらもやりきったからこそ言える言葉だと思えます。

会場には新入会員も多く出席し、「来年アカデミーに出向します！」との声も多く聞くことができました。来年も多くの出向者を輩出(私もダブル出向)できるのも、今年度皆様が「背中」を見せてくれたお陰だと強く感じています。

今年度と次年度が完全にクロスオーバーしている非常に多忙な時期にもかかわらず、開催主旨に快く賛同し、丁寧な準備をして当日に臨んで頂いた出向者の皆様、本当にどうもありがとうございます。ございました。

専務理事 原島秀一

【じゃがいもクラブ活動報告】

去る、12月11日本年度最後のじゃがいもクラブゴルフコンペが開催されました。当日はあいにくの天候でしたが、最後にふさわしい参加人数でした。次年度は堀会長に引き継ぎますが、40周年コンペも開催予定のこのことさらにじゃがいもクラブを盛り上げていただきたいと思えます。

一年間ありがとうございました。

じゃがいもクラブ 会長 片桐道祐

2009年度 社団法人調布青年会議所
じゃがいもクラブ結果
第4回(金)開催 青梅カントリー倶楽部 天候雨

順位	氏名	OUT	IN	グロス	ハンデ	ネット
優勝	小川 陽一	38	36	74	2	72
準優勝	山口 晃市	40	44	84	8.4	76
3位	吉田 勝重	46	46	92	15.6	76
4位	熊澤 和幸	50	46	96	19.2	76.8
5位	渡辺 弘樹	61	52	113	36	77
6位	杉本 一雄	51	44	95	18	77
7位	小野 肇	54	48	102	23	79
8位	鳩山 恵子	54	55	109	29	80
9位	葉山 公二	52	50	102	20	82
10位	梶原 良介	54	49	103	19	84
11位	荒井 一如	49	53	102	17	85
12位	半澤 一明	51	46	97	11	86
13位	田中 克二	54	55	109	23	86
14位	村越 知広	53	50	103	23	80
15位	片桐 道祐	49	52	101	13	88
16位	堀 善一	49	57	106	18	88
17位	小林 宣行	55	52	107	17	90
18位	川部 秀彦	52	51	103	13	90
19位	斎藤 喜兆	54	62	116	23	93
20位	登坂 和利	69	65	134	36	98
21位	堀内 信宏	58	77	135	36	99
B. B	永川 考一	71	89	140	36	104
B. M	鈴木 典子	79	80	159	36	123

【祝】菅 寛人結婚報告!

我が総務啓発委員会で数少ない独身者、この一年、LOMに限らず大活躍した運営幹事の菅寛人君がこの度、結婚いたしました。と、いっても、入籍はこれからの予定のようですが、新婚生活とJCと仕事とその他諸々、バランスをとって行くのは大変かもしれないけれど、今でなければできない事がたくさんあるはず、自分にとって良いと思うことはすべて吸収してもっと大きい男になればそして奥さんを大事にしていれば、お幸せに。



総務啓発委員会 委員長 松永和磨

編集後記に代えて・・・ 総務啓発委員会座談会

菅 今年のあすの調布、どうでしたかね?
松 色々な先輩と話せたのは刺激になったよね。あと、どうしても形式じみちゃうから、もっと形を壊したかったな。メンバーの交流につながるような。

和 そういう意味では「あの人はいま」はよかったんじゃない?
菅 取材に行くの楽しかったですよ!

松 もっとこうしたかった!っていう意見はある?
菅 見る人の目を引き付けられるように、もっとデジタル的に表現したかったですね。

和 もっと写真載せたかったな。インパクトあるでしょ、写真は。
菅 自分は...こうしたいっていうのは無いんですけど、やっぱり取材楽しかったです。先輩に会えたし。

菅 楽しかったんですけど、誰かが酔っ払って先輩とバトルになるかハラハラしましたよ。
和 誰の事?(ギョロリ)

菅 ホント、眼が座り始めますからね(笑)
松 もっとプライベートに踏み込んだ事なんかも載せたかったな。

菅 新入会員で出来れば良かったんですけど、人数が多かったですもんね...。
松 しかし、紙面が限られているから写真も記事もは難しいよね。WEBとかで対応しないと。

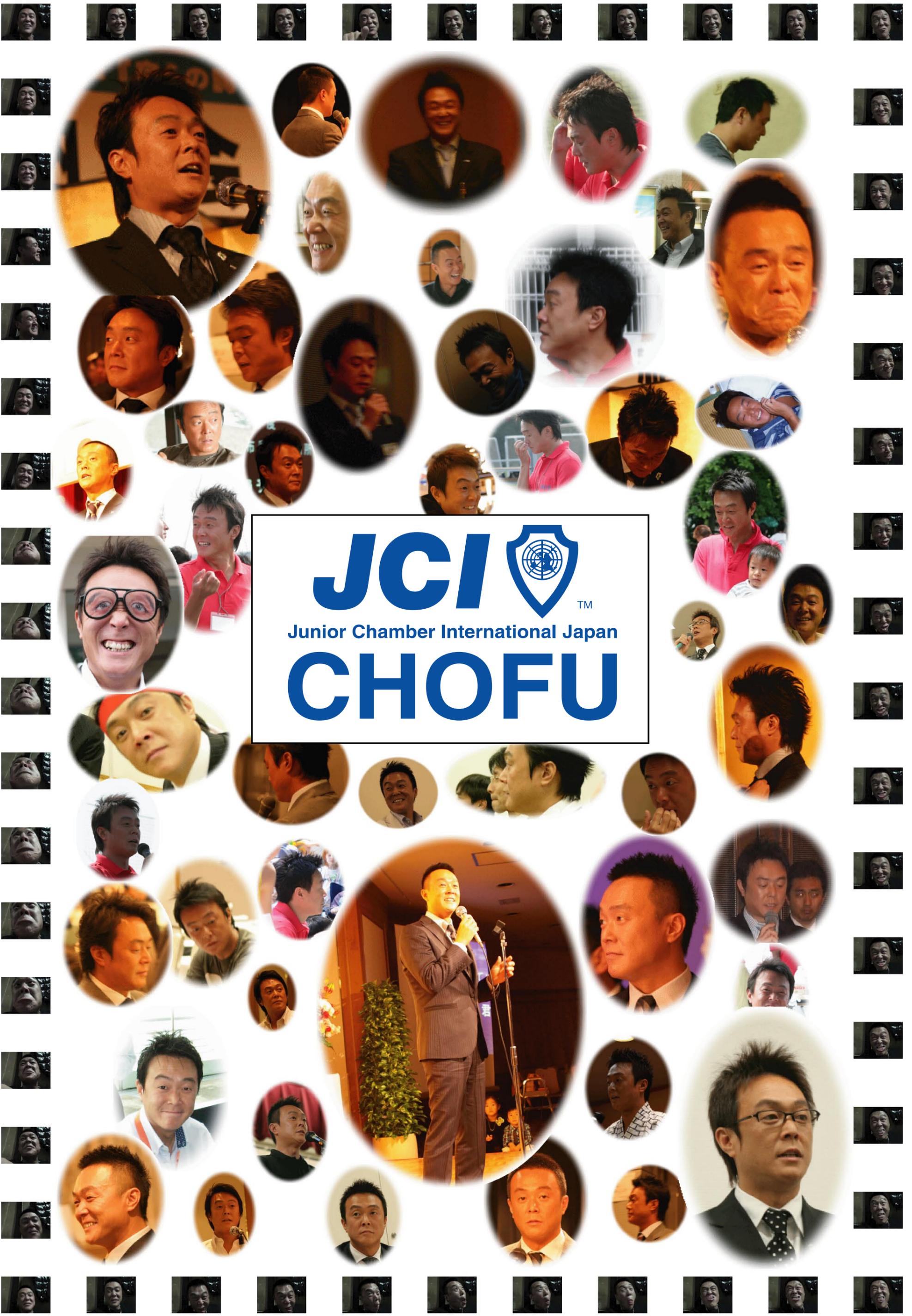
菅 でも限られた紙面にレイアウトするって事は勉強になりました。
菅 せっかくだからPR媒体としても使えるようにしたいですよ。掲載量的に難しいですかね?

菅 そうですよ。例会報告とか載ってるし、リアルタイムのPRとして使えますよね。



取材にご協力いただきました先輩方、メンバー、ご協力いただきました関係者の方この場を借りて御礼申し上げます。これをもって2009年度総務啓発委員会の事業は終了いたします。一年間ありがとうございました。

発行 社団法人 調布青年会議所 東京都調布市調布ヶ丘1-5-9 TEL/FAX 042-485-9630
編集 総務啓発委員会 委員長◎松永和磨 副委員長◎和田勝幸 運営幹事◎菅 寛人 会計幹事◎中野竜太郎
題字◎梶原良介 写真◎写真部(加藤雄一 三ツ木秀章)



JCI  TM
 Junior Chamber International Japan
CHOFU